



しっとこ講座

第1部

ユニバーサル上映

母親と自閉症を抱える息子が、社会の中で生きていく様
を温かく誠実に描く。



「梅切らぬバカ」
公式ホームページは
こちら→



第2部

● パネルディスカッション（上京区地域福祉フォーラム）

自分らしい暮らしが実現できるまちへ
～住み慣れた地域で暮らす～

同志社大学寒梅館
地下1階

ハーディーホール

地下鉄「今出川」駅
下車2番出口より北へ徒歩2分
市バス「烏丸今出川」
下車北へ徒歩5分
(烏丸通今出川上る西側)

※駐車場・駐輪場はありません。
※公共交通機関をご利用ください。



令和6年

午後1時30分～午後4時
(午後1時から受付開始)

2月8日(木)

入場無料
(事前予約不要)

定員 480名

※支援をご希望の方は、当日受付にてお申し付けください。

有席イス車

パネルディスカッション

手話通訳有 **パソコン通訳有**

映画上映「梅切らぬバカ」

日本語字幕と音声ガイド付き

問合せ：上京区社会福祉協議会 TEL:432-9535 FAX:432-9536

主催：上京区役所・上京区社会福祉協議会・上京区地域福祉推進委員会 / 共催：同志社大学今出川校地学生支援課 / 協力：京都リップル



kyoto
こころつながる
プロジェクト

発行：京都市上京区役所 健康長寿推進課
発行年月：令和5年12月 京都市印刷物 第054729号

回覽

加賀まりこ 塚地武雅

梅切らぬバカ

渡辺いっけい 森口瑠子 斎藤汰鷹

徳井優 広岡由里子 北山雅康 真魚 木下あかり 鶴田忍
永嶋柊吾 大地泰仁 渡辺稜 三浦景虎 吉田久美 辻本みず希

林家正蔵 高島礼子

監督・脚本:和島香太郎

父親代わりの梅の木が運んでくれた“小さな奇跡”とは・・・

山田珠子は、息子・忠男と二人暮らし。毎朝決まった時間に起床して、朝食をとり、決まった時間に家を出る。庭にある梅の木の花は伸び放題で、隣の里村家からは苦情が届いていた。ある日、グループホームの案内を受けた珠子は、悩んだ末に忠男の入居を決める。しかし、初めて離れて暮らすことになった忠男は環境の変化に戸惑い、ホームを抜け出してしまう。そんな中、珠子は邪魔になる梅の木を切ることを決意するが・・・



忠さん
ちゅうさん

几帳面で、馬好き

ちよっぴり辛口の占い師

珠子さん

一緒に笑って、たまに怒って涙して。
このありふれた毎日が宝物。

都会の古民家で寄り添って暮らす母と息子。ささやかな毎日を送っていたが、息子が 50 回目の誕生日を迎えた時に母はふと気づく。「このまま共倒れになっちゃうのかね？」 母親と自閉症を抱える息子が、社会の中で生きていく様子を温かく誠実に描く本作。包容力あふれる母親を演じるのは、54 年ぶりに主演を務める加賀まりこ。軽口を叩きながらも、小柄な身体で大きな息子の世話をする姿はとてもチャーミング。だからこそ、やがて訪れる“息子が 1 人で生きる未来”を案ずる横顔が、より一層切ない。

息子役には NHK 連続テレビ小説「おちょやん」など俳優としても活躍中の塚地武雅（ドラッグドラゴン）。地域コミュニティとの不和や偏見といった問題を取り入れながらも、親子の絆と深い愛を描き、あたたかな感動をもたらす。

